

# 来週の『売り物』記事はこれ



2016年6月17日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## リオ五輪 三宅宏実の挑戦

19日(日)



女子重量挙げ48キロ級の三宅宏実が父の義行監督と4大会目の五輪となるリオデジャネイロ大会に挑みます。五輪初出場は2004年のアテネ大会。音大出の母にピアノの英才教育を受けていた少女が重量挙げを始めてわずか4年、18歳の夏でした。続く北京五輪で6位入賞、ロンドン五輪で銀メダルを獲得しました。そんな三宅も30歳です。ロンドン以降は腰の疲労骨折など度重なるけがに苦しみ、メダリストという重圧とも闘ってきました。「諦めたらその時点で終わり」。1968年メキシコ五輪銅メダリストの義行さんは言います。思うように体が動かない三宅を「必ず戻るから大丈夫」と支え、見守ってきました。選手、監督として16年も苦楽を共にしてきた親子。リオ五輪に臨む父子の絆と三宅の成長を追いました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 平和憲法「やっぱり宝ですわ」——

### 世界を飛び回る護憲派禅僧の思い

夕刊特集ワイド 20日(月)



京都の名刹、相国寺。臨済宗相国寺派管長の有馬頼底さん(83)＝写真＝は、平和憲法を「宝ですわ」と言い切ります。「宗教者九条の和」の呼びかけ人の一人で、金閣寺、銀閣寺の住職でもあります。袈裟の袖に「ポケット憲法」の小冊子をしのばせ、日本各地はもちろん、世界も飛び回って「融和」を唱える。米国のブッシュ大統領(当時)ら大国のリーダーにも直言する老師。その行動力を支える「思い」とは——。

## 「アベノミクス選挙」と安倍首相は言うけども……

### 参院選で何が問われようとしているのか

オピニオン面 [論点] 23日(木)

6月22日に公示される参院選(7月10日投開票)。「新しい判断」で消費増税の延期を決断した安倍晋三首相はこう言いました。「アベノミクスを加速させるか、後戻りさせるかが最大の争点だ」。ホントにそれだけでしょうか。実は、もっと本質的な争点が潜んでいるようです。憲法改正です。選挙の結果いかんでは現実味が帯びてきます。では、参院選では何が問われようとしているのか——。一線の研究者らの「論」を軸に、参院選をめぐる多様な視点をご紹介します。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

## 「My Way」 ベニシア・スタンリー・スミスさん

 おんなのしんぶん 20日(月)



個性的な女性の人生を紹介する「My Way」。今月はベニシア・スタンリー・スミスさん(65) =写真=が登場します。英国の貴族の家系に生まれたベニシアさんは「貴族らしい生き方」を拒否して旅立ち、インドを経て日本にたどり着きます。京都・大原でハープに囲まれた暮らしを実現するまでの波瀾万丈の人生は、とてもスリリング。日本人にとっても示唆に富んでいます。

## 18歳選挙権 家庭でどう教える？ くらしナビA面 23日(木)

参院選が22日公示され、日本の国政選挙で初めて18、19歳が1票を投じることになります。学校現場では主権者教育の試行錯誤が続いていますが、「政治的中立」のために尻込みする必要がない家庭内だからこそ、できることがあるはずです。ある女子学生(19)は「両親と一緒にテレビの報道番組を見る習慣から、自然と政治に関心を持つようになった」といいます。先輩有権者である父母に何が期待されているかを考えます。



## マンションの防災

くらしナビA面 22日(水)



大地震の際、マンションが倒壊しなくても、住民の日常生活は困難になりそうです。特にタワーマンションの高層階に住む人は、階段での移動はとても大変。室内に取り残される「マンション内孤立」や、自宅に戻れない「マンション内帰宅困難者」が出る可能性があります。被害を軽減するためには住民の「共助」が重要。備えておくべきポイントを紹介します。